

令和5年10月20日

会員各位

矢作川環境技術研究会  
会長 株式会社安藤・間名古屋支店

## 令和5年度現地研修会のご案内について（参加募集）

拝啓 清秋の候、会員各位におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。日ごろは、矢作川環境技術研究会の活動にご理解とご支援を賜り深謝いたします。

さて、本会は「令和5年度現地研修会」を下記のとおり開催します。ご関係の皆様にお知らせいただき、ご参加くださいますようお願い申し上げます 敬具

### 記

#### 1. 趣旨

本会は、「矢作川方式」が優れた流域管理手法として定着した中で、建設工事において環境保全に配慮する施工技術を支援する環境保全技術の体系化を図ることを目的として活動しています。現地研修会は、矢作川方式の理念を認識し、実際の事例現場で環境対策の工法、管理・環境配慮の手法を研修するものです。

矢作川上流の山地（三河高原）は、領家花崗岩類を主とし深層風化したマサ土地帯です。マサ土は保水性に富みますが、水を過度に含むと流れやすく、大雨で大量の土砂が下流に運ばれます。また東部から南部には黄鉄鉱等の硫化鉱物を含む領家変成岩類も分布しています。一方、西部は陶土やけい砂を含む丘陵（第三紀瀬戸層群）と台地（更新世各段丘面）が広がっています。このような流域は矢作川の豊かな清流に生まれ農林漁業が盛んです。その上、戦後は工業発展が目覚ましく、平野部を中心に工業配置・都市化が進み、自然流域を越えて矢作川の水資源を高度に利用する流域圏が形成されています。

このため農・工・上水道並びに川や海の水産業の基である矢作川水域を乱開発や水質汚濁から守り、持続可能な矢作川流域を目指して、「流域は一つ、運命共同体」を上下流の合言葉に矢作川の水を保全管理する仕組み「矢作川方式」が構築されました。2000（平成12）年以降は、汎地球的気候変動による自然生態系への影響が危惧され、産業活動での地球温暖化防止対策・低炭素社会の構築がますます重要になりました。また今年も列島各地で豪雨が発生しています。持続可能な開発が推奨される中で、当流域圏においても防災・生物多様性保全とも連結し、水環境を豊かに保全・管理していく技術が求められます。

令和5年度は、「SDGsへの取り組みを内部化し豊かな川を守る初期防災の手法を学ぶ」をテーマに、用地造成事業幸田須美地区整地工事現場及び阿知和工業団地造成工事現場における初期防災・環境保全対策を事例として、2回、同コースで研修します\*1。

※1：全国土木施工管理技士連合会 CPDS プログラム登録番号 第1回 844724、第2回 844726

#### 2. 開催日時\*2

第1回：令和5年11月9日（木曜日）10：40開会～15：30閉会

第2回：令和5年11月16日（木曜日）10：40開会～15：30閉会

※2：雨天決行（大雨時は中止します。）

#### 3. 集合場所\*3,4

a. 名鉄「東岡崎」駅・南口前（8：45受付開始、9：00出発）

岡崎市明大寺町寺東地内（立体駐車場寄り）

b. 名鉄「豊田市」駅・東口前（8：15受付開始、8：30出発）

豊田市喜多町1丁目地内（名鉄豊田ホテル寄り）

c. 「明治用水会館」駐車場（9：00受付開始、9：30出発）

安城市大東町22番16号（JR安城駅から徒歩13分）

※3：参加ご希望の方は、開催日、集合場所を選択してお申込みいただきます。

※4：集合場所、帰路ルート等は申込み人数により効率よく調整する場合があります。その時はご協力をお願いします。

## 4. 研修行程

令和5年度現地研修会（案）

第1回（11月9日）・第2回（11月16日） 同コース

Time	内容	摘要
8:45～ 9:00	集合地 a. 名鉄「東岡崎駅」南口（立体駐車場寄り）受付開始 研修バス乗車、集合地 c（明治用水会館）に向けて出発	大型バス 1 号車
8:15～ 8:30	集合地 b. 名鉄「豊田市駅」東口（名鉄ホテル寄り）受付開始 研修バス乗車、集合地 c（明治用水会館）に向けて出発	大型バス 2 号車
9:00～ 9:30	集合地 c. 「明治用水会館」駐車場 受付開始 研修バス到着次第乗車して第一会場に向けて出発	
～	（移動）バス係：挨拶、配付物の確認、研修心得説明 車内研修（DVD 視聴）	
10:30	第一会場到着	
10:40 ～	1) 開会式：挨拶・趣旨（会長、顧問） 2) 用地造成事業概要（愛知県企業庁） 3) 施工計画・汚濁防止対策など説明（施工者：朝日・小原・石原 特定建設工事共同企業体（朝日 JV））	(1.0 時間)
11:00 ～	4) 現場研修 *案内：朝日 JV（バス号車別 2 班編成で行動） 5) 集合・質疑応答（全員）	
11:40	6) 謝辞（会長）	
11:50 ～	第一会場 出発 （移動）車内研修（DVD 視聴）	
12:10	昼食・休憩（50分）	
13:00 ～	出発（交通事情等で時間調整） （移動）車内研修（DVD 視聴）	
13:20	第二会場到着	
13:30 ～	1) 挨拶（会長） 2) 阿知和地区工業団地造成事業概要（岡崎市） 3) 施工計画・環境保全対策など説明（施工者：鹿島・竹中土木・ 朝日 特定事業共同企業体（鹿島 JV））	(2.0 時間)
14:00 ～	4) 現場研修 *案内：鹿島 JV（バス号車別 2 班編成で行動）	
15:10 ～	5) 集合・質疑応答（全員） 6) 閉会式：講評（助言者、顧問）	
15:30	謝辞（会長）	
15:40 ～	第二会場 出発 （移動）CPDS 受講証明書を本人確認して配付	
16:00	集合地 a.1 号車到着、アンケート回答回収・解散	バス車内点検
16:40	集合地 c.1・2 号車帰着、アンケート回答回収・解散	バス車内点検
17:00	集合地 b.2 号車帰着、アンケート回答回収・解散	バス車内点検

備考 研修用 DVD：矢水協保有版。

注 帰着時間は、交通事情等で予定の時刻より前後することがあります。

## 5. 定員

第1回、第2回、各90名。(1回あたり研修バス2台編成。1台の乗車定員45名。)

申込み人数は一会員あたり2名以内です(役割分担係を除く)。申込みは、先着順で受け、参加登録者名簿を作成します。

本会事務局から参加登録者に「確認連絡書」を返信(FAX又はEメール)します。実施日・集合場所について、バス乗車定員を超えた場合はその時点から調整します。申込み受付は、期限前でも定員に達し次第打ち切ります。

参加登録者に変更が生じた場合は、先に登録した氏名を取り消し、交代者が再度参加申込書を送信してください。

## 6. 参加申込等

参加費は、お一人¥6,000円(研修資料代、昼食代、保険料、消費税込み)です。

参加申込書(別紙)に氏名等ご記入の上、本会事務局(下記)にお送りください。※<sup>5</sup>

CPDS受講証明書を希望される方は、参加申込書の所定位置に参加ご本人のCPDS技術者証(カード)登録番号を記入してください。

※<sup>5</sup> 実施機関は、学習プログラムの申請、認定通知に基づく受講者管理と受講証明書の発行を行います。研修後の学習履歴申請は、受講証明書を受領された受講者各自で行います。

矢作川環境技術研究会 事務局 Eメール: jimukyoku@yakanken.jp  
FAX: 052-324-8182

申込み期限は、令和5年10月31日(火曜日)17:00厳守です。

※:参加費は当日の受付で徴収します。お釣りが出ないようにご協力ください。

※:研修参加登録後、研修実施日の2日前からの参加取消し(キャンセル)は、全額ご負担いただきます。どうぞご留意ください(研修実施後、請求書を研修資料同封でお送りします)。なお、無断欠席は様々なロスを生みますので、連絡徹底をお願いします。

## 7. 「新型コロナウイルス感染症」拡大防止への配慮事項

- 研修日に研修を見合わせていただく要件
  - ① 体温 37.0℃以上の発熱、感冒症状(咳・のどの痛み・下痢・嘔吐・体のだるさ・倦怠感)や息苦しさ・呼吸困難等がある方
  - ② 新型コロナウイルスに感染、または感染された方と濃厚接触があつてから7日以内の方
- 研修日をお願いする要件
  - ① 研修バス内、研修会場等では、マスクの着用、手消毒にご協力ください。
  - ② 昼食時は、黙食にご協力ください。

## 8. その他

- ・工事区域に入るため、安全ヘルメットを必ず持参してください。
- ・服装は、軽装又は作業服をお願いします。当日は現場内を歩きます。足元が湿潤で軟弱な所もあつたりしますので履物にもご留意ください。

- ・筆記具は各自で持参してください。
- ・雨天決行します。雨具も必要に応じ持参してください。
- ・受付時に「研修資料」（資料封筒入り）と「お茶 500ml ボトル」1本を（集合地 a と b の方には c 到着後に）配付します。
- ・バス車内・研修会場（喫煙コーナー除く）は禁煙です。
- ・CPDS 受講証明書を希望される方には、閉式後に、持参いただいた「CPDS 技術者証」で本人確認を行って配付します。本人確認ができない場合は配付できませんので、当日は必ず「CPDS 技術者証」を持参してください。
- ・他は当日の案内に従ってください。
- ・参加登録された方は、事前に本会発行の「新版 建設工事における汚濁防止対策の手引き 第二版」、「研究年報 水は生きている 2023」、「研究発表予定稿・現場紹介」等をお読みいただくと現地研修に効果的です。

## 9. お問い合わせ先

矢作川環境技術研究会 事務局（株）太陽機構内

担当／野田、牧内 Tel：052-339-0855（呼出）

緊急時 携帯 090-4236-7214（野田）、携帯 090-9023-0615（牧内）



# 令和5年度 現地研修会 案内図 (案)

第1回 11月9日(木曜日) 10:40開会～15:30閉会

第2回 11月16日(木曜日) 10:40開会～15:30閉会



(愛知県統計協会「愛知県地図」使用)

- 凡例
- ▲ : 集合場所
  - : 研修会場
  - : 昼食会場
  - ← : 移動ルート (番号順)

矢作川環境技術研究会

## 令和5年度現地研修会 参加申込書

令和5年 月 日

令和5年度現地研修会に参加を申込みます。

[申込者]

会員登録番号 \_\_\_\_\_ (封筒の宛名下に書いてあります。分からなければ空白可。)

名称 (社名) \_\_\_\_\_

所属部課名	
参加者氏名 <small>ふりがな</small>	
研修日 <small>チェック(✓)してください</small>	<input type="checkbox"/> 第1回 (11月 9日) <input type="checkbox"/> 第2回 (11月 16日) <input type="checkbox"/> どちらでもよい
集合場所 (バス乗車地) <small>チェック(✓)してください</small>	<input type="checkbox"/> a. 名鉄「東岡崎」駅南口 (南側の立体駐車場寄り) <input type="checkbox"/> b. 名鉄「豊田市駅」東口 (名鉄トヨタホテル寄り) <input type="checkbox"/> c. 「明治用水会館」駐車場
CPDS 受講証明書発行の有無 <small>チェック(✓)してください</small>	<input type="checkbox"/> 不要 <input type="checkbox"/> 必要 (↓必ず記入) CPDS 技術者証の登録番号 _____
参加登録確認書の連絡方法・送信先 (Eメール 又は FAX の送信先) どちらかをチェック(✓)して明確にご記入ください。	<input type="checkbox"/> Eメール (↓アドレス) _____ <input type="checkbox"/> FAX (↓番号) _____
緊急時連絡先	電話 (携帯) 番号 _____

※ ご記入いただきました情報は、今回の行事以外には使用いたしません。

実施日・集合場所についてバス乗車定員を超えた場合はその時点から調整します。申込書受付は先着順で定員に達し次第打ち切ります。

申込み期限：令和5年10月31日 (火曜日) 17:00 厳守

〔送信先〕 矢作川環境技術研究会 事務局 行  
 Eメール：jimukyoku@yakanken.jp  
 FAX：052-324-8182